



YouTube で動画が見えます！

弓道場建設工事の安全祈願祭



12/21 [Mon]



▲市職員や工事関係者ら約20人が集まり、工事の安全を祈願しました

令和6年に佐賀県で開催の国民スポーツ大会に向けて建設する、多久市弓道場（旧緑が丘小学校跡地）の建設工事安全祈願祭が行われました。

弓道場は10人立ちの近的（28メートル）と、6人立ちの遠的（60メートル）の的場を備えるなど、県内最大の規模となります。安全祈願祭で横尾俊彦市長は「安全第一で工事を進めていただくので、地域みなさんにもご協力をいただきたい。県内の弓道愛好家を中心に、活発に交流しながら弓道の技を磨く場所になることを願っている」と期待を込めました。

弓道場は今年12月に完成予定です。

歳末の温かい支援

12/22 [Tue]



▲多久市社会福祉協議会で、笹川会長（左から2人目）から多久市社会福祉協議会の藤田和彦会長（左から3人目）へ目録が手渡されました

管理職、専門職に従事する女性の世界的な奉仕団体国際ソロプチミスト佐賀中部（多久市・小城市）から、今年も多久市社会福祉協議会へ歳末たすけあい募金の協力がありました。

同団体からの歳末募金は平成元年から行われ、昨年で32回目。募金は多久市社会福祉協議会をととして、全額が地域福祉事業で活用されています。

同団体の笹川澄子会長は「少しでもみなさんの助けになれば嬉しい。これからもこの活動を続けていく」と話されました。



YouTube で動画が見えます！

楽しく「もちつき」ペッタン！



12/25 [Fri]

人気のイベント「もちつき」を、今年も児童センターあじさいで開催し、子どもたちがきねと臼を使った昔ながらの餅つきを体験しました。今年は新型コロナウイルス感染防止対策として、持ち帰り用の餅を準備し、訪れた親子に振る舞いました。

鳥井武センター長は「地域のボランティアのみなさんにご協力いただき、今年もちつきができた。ついたお餅のおいしさを味わってもらいたい」と話しました。参加した児童は「初めての餅つきで、きねが重かったけど楽しかった」と笑顔で話しました。



▲“よいしょ！”の掛け声に合わせて、きねで餅をつく子どもたち



▲ボランティアのみなさんが準備されたお餅